

報道関係者各位  
プレスリリース

平成 23 年 9 月 7 日  
公益財団法人東京都歴史文化財団  
東京文化会館

## 東京文化会館 開館 50 周年記念特殊切手 「東京文化会館 50 周年」の発行について

今年、東京文化会館は 50 周年を迎えました。昭和 36（1961）年の開館以来、“音楽の殿堂”として世界に名だたる音楽家や歌劇団、バレエ団が名演を繰り広げてきました。当館の開館 50 周年を記念し、郵便事業株式会社より 10 月 31 日に特殊切手「東京文化会館 50 周年」が全国の郵便局等で発行されることとなりましたのでお知らせいたします。図版は戦後の音楽史に大きな足跡を残してきた当館の建物や事業を象徴するデザインとなっています。

また、当館では、11 月 1 日(火)より 11 月 23 日(水・祝)まで「東京文化会館 50 周年記念フェスティバル」として、オペラやガラコンサート、写真展等を行ってまいります。是非、併せてご取材・ご高覧賜りますようお願いいたします。

添付資料： 別紙 1 「郵政事業株式会社プレスリリース  
特殊切手『東京文化会館 50 周年』の発行」  
別紙 2 「東京文化会館 50 周年記念フェスティバル概要」

### 【お問合せ】

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館  
経営管理課 管理係 担当：宮川・大村  
東京都台東区上野公園 5-45  
電話：03-3828-2111 FAX：03-3828-6406

報道関係者各位

別紙 1

2011年9月7日  
郵便事業株式会社

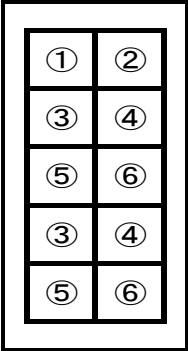
## 特殊切手「東京文化会館50周年」の発行

郵便事業株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 鍋倉真一）は、昭和36（1961）年の開館以来「音楽の殿堂」として戦後の音楽史に大きな足跡を残してきた東京文化会館（\*）が平成23（2011）年に開館50周年を迎えることを記念して、特殊切手「東京文化会館50周年」を発行します。

（\*）東京文化会館

東京文化会館は「首都東京にオペラやバレエもできる本格的な音楽ホールを」という人々の要望に応え、東京都が開都500年記念事業として建設し、昭和36（1961）年4月に開館しました。故前川國男氏の設計による代表的なモダニズム建築としても知られ、「音楽の殿堂」として多くの人々に親しまれています。オペラ、バレエ、クラシックコンサート等世界中の著名なアーティストによる名演の数々が繰り広げられてきました。

### 1 発行する切手の内容

名 称	東京文化会館50周年
発 行 日	平成23年10月31日（月）
種 類	80円郵便切手
シート構成・意匠	 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 東京文化会館大ホール</li> <li>② 東京文化会館小ホール</li> <li>③ トウシューズと「白鳥の湖」のイメージ</li> <li>④ オペラグラスと「椿姫」のイメージ</li> <li>⑤ ピアノの鍵盤</li> <li>⑥ ヴァイオリン</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     1シート10枚（縦5枚×横2枚） ※1枚から販売します。                 </div>
小 切 寸 法	縦38.5mm×横28.0mm
印 面 寸 法	縦35.5mm×横25.0mm
シ ー ト 寸 法	縦222.5mm×横93.5mm
版 式 刷 色	オフセット6色
発 行 枚 数	1,000万枚（100万シート）
切手デザイナー	星山 理佳
販 売 場 所	全国の郵便局及び郵便事業株式会社支店等 （ゆうびんホームページ内「切手SHOP」のほか郵便振替による通信販売も行います。）（注）

（注）切手SHOPへの掲載は9月下旬を予定しています。

## 2 発行する郵便切手のデザインについて

今回の切手デザインは、平成 23（2011）年に開館 50 周年を迎えた東京文化会館を象徴するものを題材としています。

### ① 東京文化会館大ホール

同大ホールはオペラ、バレエ、オーケストラなどの公演に使用されています。客席側面にある独特のフォルムを持つ音響拡散体が豊かな響きを生み出しています。

### ② 東京文化会館小ホール

同小ホールは室内楽、リサイタル等の公演に使用されています。舞台後方の“昇り屏風”と呼ばれる音響反射板が特徴です。

### ③ トウシューズと「白鳥の湖」のイメージ

バレエのトウシューズとロシアの作曲家チャイコフスキーによる 3 大バレエの一つである「白鳥の湖」の白鳥をイメージしてデザインしています。

### ④ オペラグラスと「椿姫」のイメージ

オペラ観賞用のオペラグラスと、イタリアの作曲家ヴェルディによるオペラの代表作の一つである「椿姫」の椿をイメージしてデザインしています。

### ⑤ ピアノの鍵盤

クラシック音楽を代表する楽器として採用しています。

### ⑥ ヴァイオリン

クラシック音楽を代表する楽器として採用しています。

## 3 その他

通信販売等の販売概要、郵趣のための記念押印サービスについては、ゆうびんホームページでお知らせします。

### 【報道関係の方のお問い合わせ先】

経営企画部広報室

電話：（代 表）03-3504-4411

（直 通）03-3504-9798



## 東京文化会館 50周年記念フェスティバル概要

2011（平成23）年11月1日（火）～23日（水・祝）



### ■オープニングコンサート

11月1日（火）19:00開演 大ホール

ベートーヴェンの第九と西村朗氏に委嘱した新作「管弦楽のための礼楽」でフェスティバルの幕開けを飾ります。

指揮：大友直人 独唱：森 麻季（ソプラノ）林美智子（アルト）福井 敬（テノール）甲斐栄次郎（バリトン） 合唱：新国立劇場合唱団／日本オペラ協会合唱団 管弦楽：東京都交響楽団

### ■記念オペラ『古事記』 **舞台版日本初演** 原語(ドイツ語)上演／字幕付

2011（平成23）年11月20日（日）、23日（水・祝）各日14:00開演 大ホール

「古事記」編纂1300周年を翌年に控えて、黛最後の大作が、舞台版で日本初演されます。

指揮：大友直人 演出：岩田達宗

イザナギ：甲斐栄次郎（バリトン） イザナミ：福原寿美枝（メゾソプラノ） スサノヲ：高橋 淳（テノール） アマテラス：浜田理恵（ソプラノ） オモイカネ：妻屋秀和（バス） アシナヅチ：久保田真澄（バス） 天つ神／クシナダ：天羽明恵（ソプラノ） 使者：吉田浩之（テノール） 語り部：観世鍔之丞 他

合唱：新国立劇場合唱団／日本オペラ協会合唱団 管弦楽：東京都交響楽団

### ■記念ガラ

11月5日（土）14:00開演 大ホール

世界に名だたるアーティストたちによる豪華絢爛なガラ！

指揮：外山雄三、沼尻竜典 ヴァイオリン：前橋汀子 チェロ：堤剛 ピアノ：中村絃子 バレエ：吉田都 ソプラノ：マリエッタ・デヴィーア テノール：フェルナンド・ポルターリ バリトン：堀内康雄 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 美術：日比野克彦

### ■プレミアムコンサート

11月19日（土）14:00開演 小ホール

素晴らしい音響を誇る小ホールで巨匠が奏でる極上の時間をお楽しみください。

堤 剛（チェロ） 須関裕子（ピアノ）

### ■東京音楽コンクール 入賞者ガラコンサート

11月12日（土） 10:30／13:00／15:30／18:00

コンクール入賞を経て活躍する旬のアーティストたちが一堂に会する、多彩で個性的な競演。若き精鋭の成長した姿をご堪能ください。

## ■地域連携企画「東京文化会館は音盛り。うへの音楽人フェスティバル」

11月6日(日) 10:00/13:00/16:00/19:00 開演(大ホール) 11:30/14:30/17:30 開演(小ホール)

うへのにちなんだ音楽団体や文化団体、音楽大学等が大集結して50周年を盛り上げます。

音盛りナビゲーター：朝岡聡(コンサート・ソムリエ)

台東区ジュニアオーケストラ、都民交響楽団、上野学園大学管弦楽団、東京藝術大学音楽学部学生オーケストラ、台東区上野の森ジュニア合唱団、藝大卒業生(邦楽)、小川典子&都響メンバー 他  
※その他、ホワイエでの特設ブースやウェルカムコンサートもごさいます。

## ■写真展

11月2日(水)～22日(火) 小ホールホワイエ

前川國男の東京文化会館、木之下晃写真展「20世紀のマエストロ100人」と題して、東京文化会館の50年を貴重な資料と写真で振り返ります。

## ■50周年記念協力公演(共催公演)

## ■50周年記念参加公演(貸館公演)

大・小ホールご利用の主催者の協力を得て、50周年に一層の彩りを添えていただきます。

## ■記念誌「響きあう感動50年 音楽の殿堂 東京文化会館ものがたり」

東京文化会館の歴史と伝統を振り返る一般書籍(東京新聞より発売中)。

## ■東京文化会館アーカイブ

東京文化会館でこれまで50年間に上演された全公演の概要を、インターネット上で検索・閲覧していただけます。